

第3学年

授業の実践

主題名	わかり合える友	資料名	貝がら	内容項目	2－（3）友情・信頼
ねらい	友達とのよい関わりについて考え、互いを理解し仲よくしようとする態度を育てる。				

道徳的価値に関わる体験活動



「長～い紙・つくって
友達の思いをくみとりながら、みんなで作品をつくりました。



「みどりっこ共遊
みんなと仲よく楽しく活動できました。



「体力テスト
4年生と一緒に、協力して実施することができました。

授業

自分との関わりで考える

気づく	1. 友だちと楽しく過ごせたときの経験を話し合う。 補助資料の活用 常時活動を生かした気づき	
深める	2. 資料をもとに、道徳的価値の理解を深める。 ※自分のこととして考える。 中山君からもらった貝がらを一つ一つながめたり、にぎったりしたとき「ぼく」はどんなことを考えたのだろう。 発問の意図 お互いに理解し合えるよさを自分との関わりで考える。	 
見つめる	3. 自分の心を見つめる。 「お互いに大切にしたり仲よくしたりしたことはありますか。」	
つなぐ	4. 見つめた自分の思いをつなぐ。 詩を聞く。	



「運動会
4年生にソーラン節の踊りを教えてもらいながら練習します。



「むかしのくらし
友達と協力して、むかしのくらしを体験します。



「日光見学
みんなで仲良く、世界遺産を見学します。